# 議会だより
# No.137

2022.4.15 発行

# こころのこえ


表紙　部落解放同盟九重支部との対話会の様子
- 当初予算・新年度事業紹介・補正予算 ····· P2
- 予算質疑・人事案件 ····· P3 ~ P4
- 議案リスト・臨時会 ····· P5 ~ P6
- 総務建設産業常任委員会審査報告 ····· P7
- 教育民生観光常任委員会審査報告 ····· P8
- 一般質問（7名）····· P9 ~ P15
- 活動報告・特集 ····· P16
- わたしのひとこと（2名）····· P17

裏表紙　飯田、野上地区の写真
編集後記

今号の写真

議員と部落解放同盟九重支部との対話会

# 決定 令和4年度予算

## 一般会計 88億0,000万円

（対前年比　4億1,700万円増　5.0%増）

## 特別会計総額 33億2,369万円

（千円以下切捨）

### 特別会計内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 国民健康保険 | 15億1,905万円 | 介護保険 | 14億5,326万円 |
| 水道 | 1億2,187万円 | 後期高齢者医療 | 1億6,163万円 |
| 飯田高原診療所 | 6,787万円 | | |

## 全会計 121億2,369万円

（対前年比　5億3,392万円増　4.6%増）

### 主要事業

| | |
|---|---|
| 釣住宅用地宅地造成事業 | 6,525万円 |
| 文化センターリフレッシュ事業 | 2億4,482万円 |
| 農地災害復旧費 | 1億9,437万円 |
| 道路橋りょう補助災害復旧費 | 4億7,647万円 |
| 新型コロナウイルス予防費 | 4,970万円 |

## 令和3年度補正予算

### ◎一般会計

| | |
|---|---|
| 補正額 | 2億4,539万7千円 |
| 補正後額 | 95億　166万9千円 |

### ◎特別会計

| | 補正額 | 補正後額 |
|---|---|---|
| 国民健康保険 | 1,676万5千円 | 15億1,362万4千円 |
| 水道 | △539万4千円 | 1億2,419万1千円 |
| 飯田高原診療所 | △300万4千円 | 7,140万4千円 |
| 介護保険 | △3,832万7千円 | 15億2,563万9千円 |

# 当初予算質疑

## 増田裕子議員

**Q　子宮頸がん予防ワクチンについて、国は勧奨を再開したが、重篤な副作用をめぐって大きな訴訟も継続中だ。丁寧な情報提供と慎重な対応が必要と考えるが、予算1千45万4千円の明細と、町として接種の進め方は。**

A　対象は、小学校六年生から高校一年生まで。210人が3回受けるための630回分を計上している。単価は1万6855円。予防接種法上のA類疾病になるので、9割程度が地方交付税措置となる。「接種後の多様な症状」については、国は様々な知見、研究結果により、現段階では因果関係はないという認識である。保護者、ワクチンを接種する本人が安心して接種できるよう、医療機関等と情報共有をしていきたい。

## 佐藤明郎議員

**Q　スクールバスの委託金には車検代なども含まれているが、町内業者に検査を出すのが基本であるが、徹底できているか。**

A　委託先の運行業者の都合もあるが、可能な限り、町内業者に出すように依頼する。

**Q　文化センターの改修予算の約2億4千万円。**
**災害復旧優先、財政負担の平準化を唱える中、町民のライフライン整備を優先すべきではないか。**

A　文化センターの使用に限界が来ているうえに、補助金の関係もあり、先送りはできない。

## 麻生良典議員

**Q　まちの担い手応援事業補助対象の一つとして国際交流とあるが、その内容と補助額は。**

A　美山高校生の海外短期留学で100万円を補助。

# 補正予算質疑

## 佐藤明郎議員

**Q　長者原休憩所の解体工事費が、来年度に繰り越されている。倒壊の危険性が高いため、臨時議会で一月に予算化した事案であり、そのまま現在に至っているのはいかがなものか。**

A　その後、アスベストの含有調査が発生したためである。

## 農業委員会委員

穴井　　勲さん（南山田　栗原）
飯田　祥治朗さん（飯田　湯沢）
佐々木　洋子さん（東飯田　後辻）
田吹　博史さん（南山田　川東上）
手島　政弘さん（野上　南区）
仲摩　茂敏さん（東飯田　下旦二）
矢方　盛士さん（飯田　中村中二）
矢幡　陽子さん（野上　寺田）
小田　稲次郎さん（南山田　梶屋）
佐々木　清和さん（野上　猪牟田）
佐藤　栄一さん（東飯田　川下北）

## 人事案件 14件 同意

### 固定資産評価委員会委員

野上　後野上　佐藤　千敏さん

### 教育委員

南山田　田中　小野　日隆さん

### 副町長

飯田　奥郷　時松　賢一郎さん

## 議案第24号（令和4年度九重町一般会計予算）及び発議第1号（ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について）の賛否について

議決にあたり下記のように賛否が分かれました。（議長は採決に入りません）

| 議員名（議席順） | 佐藤 明郎 | 岩尾 茂樹 | 野上 香代子 | 岐部 俊哉 | 麻生 良典 | 増田 裕子 | 土井 眞一郎 | 大津留 敏加 | 有吉 富生 | 佐藤 博美 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第24号 | 反対 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 発議第1号 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 反対 |

## 発議第1号の議員提案により決議された文面

**ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議**

世界を見渡すと、局地的な紛争、内戦が絶えない現実がある。

この様な中、２月24日、ロシアは国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含む多数の犠牲者を出し続けている。

このような行動は、明らかにウクライナの主権及び領土を侵害し、国民が平和のうちに生存する権利を侵害するものであり、武力による威嚇及び武力の行使を禁ずる国連憲章の重大な違反である。

私たちは、過去の歴史に学び、戦争反対、世界の恒久平和を切望してきた。この願いをロシアによる侵攻は打ち砕いたものである。

よって、九重町議会は、ロシアによるウクライナへの侵攻や、主権侵害に対し強く抗議するとともに、ロシアに対し、軍事侵攻の即時停止とウクライナからの完全撤退を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和４年３月18日　九重町議会

**発議第１号に反対する意見**

ロシアの軍事侵攻には強い怒りを覚え、一刻も早く殺戮が終わることを願っています。しかしながら、今、この九重町議会で決議を上げることが平和的解決につながるとは思えません。

ウクライナ周辺の歴史を見ると、大国ロシアと、アメリカとヨーロッパの狭間で戦乱が絶えない。第１次第２次世界大戦はもちろん、近くは2014年ウクライナ騒乱、ドンバス戦争、クリミア危機と、まさに世界大戦の火薬庫であります。

私は、九重町の議員として、地方議会は、国際政治に意見するより、どの国であってもその民衆に思いをはせ、手をつなぐ努力をすることで、世界平和を求めていく立場に立ちます。したがって決議には反対です。

## 第1回九重町議会定例会　「令和4年3月1日～18日」

| 議案一覧 | | | |
|---|---|---|---|
| 議案番号 | 件名 | 付託 | 結果 |
| 議案第５号 | 職員の給与に関する条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第６号 | 職員の給与の特例に関する条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第７号 | 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第８号 | 九重町個人情報保護条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第９号 | 各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第10号 | 九重町消防団条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第11号 | 九重町総合計画審議会条例の制定について | 総務 | 可決 |
| 議案第12号 | 附属機関の設置に関する条例の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第13号 | 町民が考える九重町町づくり会議条例等の一部改正について | 総務 | 可決 |
| 議案第14号 | 道路認定について | 総務 | 可決 |
| 議案第15号 | 九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について | 教民 | 可決 |
| 議案第16号 | 九重町観光地域づくり法人設立委員会設置条例の制定について | 教民 | 可決 |
| 議案第17号 | 九重町工場立地法地域準則条例の制定について | 教民 | 可決 |
| 議案第18号 | 九重版DMO設立検討委員会設置条例の廃止について | 教民 | 可決 |
| 議案第19号 | 令和３年度九重町一般会計補正予算（第13号） | | 可決 |
| 議案第20号 | 令和３年度国民健康保険特別会計補正予算（第３号） | | 可決 |
| 議案第21号 | 令和３年度水道特別会計補正予算（第４号） | | 可決 |
| 議案第22号 | 令和３年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第４号） | | 可決 |
| 議案第23号 | 令和３年度介護保険特別会計補正予算（第３号） | | 可決 |
| 議案第24号 | 令和４年度九重町一般会計予算 | | 可決 |
| 議案第25号 | 令和４年度国民健康保険特別会計予算 | | 可決 |
| 議案第26号 | 令和４年度水道特別会計予算 | | 可決 |
| 議案第27号 | 令和４年度飯田高原診療所特別会計予算 | | 可決 |
| 議案第28号 | 令和４年度介護保険特別会計予算 | | 可決 |
| 議案第29号 | 令和４年度後期高齢者医療特別会計予算 | | 可決 |
| 追加議案 | | | |
| 議案第30号 | 町長・副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について（3/11追加） | | 可決 |
| 議案第31号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について（3/18追加） | | 同意 |
| 議案第32～42号 | 農業委員会委員の任命について（3/18追加）　計11名 | | 同意 |
| 議案第43号 | 教育委員会委員の任命について（3/18追加） | | 同意 |
| 議案第44号 | 副町長の選任について（3/18追加） | | 同意 |
| 発議第１号 | ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について | | 可決 |

（注）全員一致の場合は、「可決」または「否決」と記しています。可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。総務＝総務建設産業常任委員会、教民＝教育民生観光常任委員会

## 第１回　九重町議会臨時会

令和4年1月26日

| 議　案　一　覧 | | | |
|---|---|---|---|
| 議案番号 | 件　　名 | 付　託 | 結　果 |
| 報告第1号 | 専決処分の報告同承認を求めることについて | | 承　認 |
| 議案第1号 | 九重町長者原休憩所の設置及び管理に関する条例の廃止等に関する条例について | | 可　決 |
| 議案第2号 | 令和3年度九重町一般会計補正予算（第12号） | | 可　決 |
| 議案第3号 | 令和3年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第3号） | | 可　決 |

**★報告第１号　専決処分の内容と目的は？**

住民税非課税世帯等への10万円給付（合計２億130万円）を専決して、対象世帯へ給付するためです

給付するための事務費が約300万円！！もかかっています。
マイナンバーカードがあれば、支給は早くなり、事務費も減らせるのでは？

**★議案第１号　長者原休憩所の設置及び管理に関する条例の廃止等に関する条例の内容は？**

長者原休憩所は、経年劣化とシロアリ被害のため解体します。休憩所の機能はビジターセンターに移します

**★議案第２号　補正予算（12号）は何のための補正？**

4億7,413万9千円の補正額。上記給付金以外の主な事業内容は、

①地域消費喚起プレミアム商品券の発行　②観光宿泊施設緊急支援　③R2年豪雨災害復旧工事となっています

## 第２回　九重町議会臨時会

令和4年2月18日

| 議　案　一　覧 | | | |
|---|---|---|---|
| 議案番号 | 件　　名 | 付　託 | 結　果 |
| 議案第4号 | 工事請負変更契約の締結について | | 可 決 |

**★議案第４号　工事請負変更契約の締結とは？**

淮園小学校普通教室棟大規模改造工事で追加工事費として約250万円を補正するものです

# 総務建設産業常任委員会 審 査 報 告

議案 10件

## 町道認定（生竜地区）

生竜地区の方々より提出された陳情に基づき、要望された道路が「生竜支線」として町道に認定されました。

認定された道路

## 九重町消防団条例の一部改正

私達の安全な生活は消防団によって維持されています。消防団の活躍を支えるため、団員の年報酬及び出動報酬額を引き上げ、入団要件の緩和を行いました。、併せて、団員の減少傾向に応じて定員を削減しました。

このことにより、消防団員の入団の促進、消防団員が活動しやすい環境の整備、並びに継続的な活動の維持を図ります。

粟野河原での特別訓練

## 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の期末手当支給月数を一般職員と同等水準に引き上げることが国から要請されており、今回対応しました。

## 各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正

「九重町総合計画審議会」及び「九重町観光地域づくり法人設立委員会」の設置に伴い、委員報酬を改正しました。

## 九重町総合計画審議会条例の制定

今年度から始まる第5次総合計画の進捗管理と効果検証を外部委員で組織する審議会で行うため、所管事務、組織・運営などの必要事項が制定されました。まち・ひと・しごと創生総合戦略は総合計画と部分的に重複するため、この審議会で取り扱います。

これに伴い、附属機関の設置に関する条例にある、九重町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の規定を削除しました。

## 町民が考える九重町町づくり会議条例等の一部改正

令和4年度から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、該当箇所を改正しました。18歳、19歳の若者の積極的な社会参加で、九重町の活力がより一層高まることが期待されます。

## 職員の給与に関わる二つの条例の一部改正

・ラスパイレス指数100を基準とした給料水準とするため今年度、職員の給料が減額されます。
・人事院勧告に基づき、今年度の期末手当の支給月数は年間で0.15月分引下げられます。

## 九重町個人情報保護条例の一部改正

「デジタル社会形成整備法」の施行により、引用する法律及び条項が改正されました。

# 審査報告

議案 4 件

## 九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正

総合健診において集団健診のみで実施していた骨粗しょう症検診と前立腺がん検診について、施設健診で実施できるように所要の改正を行うものであります。

なお、施設健診での精度の高い機器の使用、受診日の選択がし易くなる等、受診機会の拡大も期待されます。

保健センターで行われる総合検診の様子

## 九重町観光地域づくり法人設立委員会設置条例の制定

九重町の観光の特色のひとつ:九重“夢”大吊橋

九重町観光地域づくり法人設立に向け必要事項を協議、決定していくために、新たに委員会を設置するものであります。

委員会の設置により、九重町全体を捉え、特色を生かした観光の地域づくりができる法人の設立を期待します。

観光庁HPより

## 九重版 DMO 設立検討委員会設置条例の廃止

九重町観光地域づくり法人設立委員会を設置するにあたり、九重版DMOの調査・研究並びに設立の検討等に関して規定する委員会の条例を廃止するものであります。

## 九重町工場立地法地域準則条例の制定

工場立地法で定められている緑地及び環境施設面積率等の緩和を行い、企業立地及び企業による設備投資を促進することを目的に制定するもので、適地の少ない本町において企業活動の活性化につながるものであります。

# 町政を質す 一般質問

## 7名の議員が質問

野上 香代子

## 人口減少カーブを鈍化させる最たる施策は

…… 健康寿命の延伸、郷土愛を作っていく

### 施政方針を問う

**野上** 町民との対話の機会を積極的に創出する方策の考えは。

**町長** 大きな集合体ではなく小さな集合体に車座で直接話を聞く機会をつくる。町長だけでなく職員も住民と直接対話する機会をつくる。各種団体や地域をターゲットにコンパクトな懇談会を実施する。月1回、1団体と対話の計画をたてていきたい。

**野上** 観光振興にインバウンド誘客とある。現在の考えは。

**町長** インバウンドの回復に期待すると同時に収束後、外国客が増える可能性を考え看板の多言語化などに取り組む。

**野上** 森林環境譲与税の活用方法は。

**町長** 森林環境直接支援事業に2,000万円
集落孤立防止・里山整備事業に2,879万3,000円
林業作業路原材料支給に520万円
九電へ災害事前防止作業委託に350万円
譲与税事業事務委託に165万円
立木補償に350万円

森林環境贈与税のしくみ

**野上** マイナンバーカードの取得状況と活用方法は。

**町長** 取得状況は2月末で2,969枚取得率33%。
活用方法は個人番号の確認、身分証明書、健康保険証、として利用できる。来年度中には転入転出の手続きのオンライン化等が出来るようになる。

### 教育行政基本方針を問う

**野上** 学校を開く取り組みの現状と課題は。

**教育長** 月1回の学校公開日、学校通信の地域への配布や回覧、ホームページによる情報公開を行っている。課題はコロナ禍で地域の方に来ていただく機会が設定出来なかった。会議にしても一緒に協議する機会が持てなかった。ホームページにも力を入れていく。

### コロナワクチンについて

**野上** 11歳以下のワクチン接種の考えは。

**町長** 現在（3月7日時点）、事前意向調査を実施中。目的は、どれくらい接種希望があるかを把握するのと、ワクチンや11歳以下の感染に関する資料を提供し、保護者とお子さんで接種をするのか、しないのかを検討いただく機会とするため。今後、具体的接種計画を決定するが、大人と別日を設け集団接種を実施する方向で検討している。

### その他に豪雨災害復旧状況について質問

R2年災害：河川、町道は全体の入札率87%　契約率63%　完成率28%。農地は、契約率23%　完成率9%。
R3年災害：道路1件、河川3件、農地4件、農業用施設8件で査定。

# 窓口業務（証明書発行）の改善について（書かない窓口、口頭での申請による証明書発行は実施できないか）

…… 経費等の予算も含め今後議論することが必要であると考える

岩尾　茂樹

## 窓口業務（証明書発行）の改善について

**岩尾**　証明書の種類と発行件数は。

**町長**　R3年度の2月末で戸籍謄本・抄本1,465通、住民票2,982通、印鑑証明2,561通、所得証明等の税務関係が合計で3,357件です。

**岩尾**　書かない窓口、口頭での申請による証明書の発行はできないか。

**町長**　経費等の予算も含め今後議論することが必要であると考える。

**岩尾**　キャッシュレス決済を導入できないか。

**町長**　現在支障はないが、今後協議は進めていきたい。

**岩尾**　証明書のコンビニ発行（行かなくていい役場）は実施できないか。土日・祝日、夜間、全国のコンビニで利用でき利便性が大きく向上する。

また、各種申請、証明発行窓口の一本化を更に進めることはできないか。

**町長**　今後実施すべき事業とは考えているが、財政の裏づけや順次作っていくためのバックアップも必要であり、コミュニティーが失われないような対策等検討しながら進めていかなければならないと考えている。

住民課の窓口

## 職員の町内視察について

**岩尾**　職員全員が町内の状況（人、道路、農地、災害状況等）を知ることが大事なことと考えるが、業務の一環として年に数日町内視察に出ることはできないか。

**町長**　現場の状況を把握することは重要だと考えている。現在、課長会で情報共有を図り課の中でそれぞれ報告をしている。やり方については協議や議論が必要かとは考えるが、議員からも情報提供をお願いしたい。

## 農業振興について

**岩尾**　高付加価値の付いた野菜等を生産し、所得を上げる取組みについて、どのような指導をし、その結果はどうなったか。

**町長**　生産者が協力して安定的な出荷量を確保し、秀品率の向上を図り地域ブランド力を上げる。

また、購入者のニーズに合ったものを高品質で生産販売することによりブランド力の向上を図る。

**岩尾**　趣旨は理解できるが、今後の具体策をどう考えているか。

**町長**　まだまだ研究不足なので具体策を協働で作りあげていくことが大事なことだと考えている。優れた生産品を産地ごとに特化した形で販売する。ブランドづくりをお互いに真剣にやっていく。そういうことを進めていきたい。

有吉　富生

# 第5次総合計画の町民との取り組み手法は

…… 住民と行政による協働の町づくりを推進していく

## 災害復旧対策について

**有吉**　災害発生から2年間復旧工事を進めてきたが耕地災害の完成率は何パーセントか。

**町長**　耕地災害の入札は割合でいくと95%になるが不調が多い状況である。

**有吉**　発注も緊急性のある場所から行われたが、ほぼ急ぐところは対応できたのではないか、今後は農家を守る為にも耕地災害の復旧を優先できないか。

**町長**　いろんなやり方もあるので調整しながら、早めに着手できるよう対策していく。

**有吉**　工事申請の未対応は何件か、対応できるか。

**町長**　2月末で工事申請は20件で、工種によっては終わっている。

## 飯田高原中村線の復旧は

**有吉**　現在3か所の片側通行の場所があるが今後の復旧計画を県と協議しているか。

**町長**　トンネル出口個所は、治山工事は終了、今後落石防止網を張る工事を行う、茅原小野の崩壊個所は用地買収後に工事発注の予定で復旧工事は令和5年までの計画としている。

飯田高原中村線の災害復旧個所

**有吉**　県道であっても九重町の個所であり、何らかの問題があるところは地元への情報は流せないか。

**町長**　片側通行であり情報提供は県としては考えてないが、町として県と対応を協議する。

## 町政振興について

### 第5次総合計画の実施の取り組み

**有吉**　第5次総合計画についての検討会や今後の進め方は各地区町づくり協議会と議論はしているか。

**町長**　主要な部分、協議会に関係する部分については説明会を行い意見聴取していく。

まち協の議会傍聴

**有吉**　職員と町民の交流の場を設けて町民の窓口になるような活動は出来ないか。

**町長**　町民との交流等、年間の研修でどう活躍できるか、機能していけるか検討している。

### 緊急車両が入れない住宅の対応は

**有吉**　町内で救急車や消防車が入れない住宅がどのくらいあるか調査はしているか。

**町長**　危険個所の連絡は消防団から聞いているが、相談があれば調査はしている。

**有吉**　防災マップ等も作成しているが、こうしたことも併せて検討すべきではないか。

**町長**　マップの作成で避難経路等の確認はしている。通行に支障個所は地区で共有できるよう進めていく。

### 森林環境税について

**有吉**　今後環境税の利用計画はあるのか。

**町長**　4年度は数件事業を計画している。今後も税のガイドラインに沿って県と協議し取り組んでいく。

# 災害復旧後のビジョン、町民に夢と希望を示すべきでは

## …… 主人公は住民で、行政は後ろで支える

増田　裕子

**増田**　今後、人口減とコロナ禍で税収は減り、吊橋や泉水の収入も減る見込み。打開策が必要だ。これまでの一般質問で、吊橋のアスレチックパーク化、町の中心軸としての道の駅建設、ふるさと納税の強化など提案してきた。災害復旧後、どのように町の収入（自主財源）をアップしていくか、具体的な施策・ビジョンは。

**町長**　まずは災害復旧復興と新型コロナウイルス感染症対策・拡大防止を重点に行っている。

　災害では物も壊れたが、ある意味人の心も壊れた。住民を支えるのが行政で、財政の土台の上に人口が減少しても持続可能な町をつくる。

### 住民に意見を聞くのは必要だが、リーダーシップも必要だ!

**増田**　淮園校区の定住促進施策について、小学校の大規模改修も終わるが、進捗状況は。

**町長**　3年前に淮園地区14名の区長から陳情が出された。1点は小学校の大規模改修、2点目は改修と連動して地域の定住促進を求める内容。今年度4月に区長に声をかけたが、新たな組織（学校を拠点とした若者定住）を作って進めようと、先日第1回準備会を持った。住民の主体性に重きを置いて、組織化、活動を進めていきたい。まずは新しい組織の立ち上げを令和4年度中に行いたい。町の方から具体的な内容の提起はしていない。

　考え方は、住民は行政に依存するのではなく、まず自立が大事。

大規模改修工事が終わった淮園小学校

**増田**　定住促進のためには、住宅地の確保が大きな課題である。町遊休地の整理と積極的な活用は進んでいるか。

**町長**　昨年、旧南山田公民館跡地を売却し、現在釣住宅における宅地造成事業が進行中。その他の町有地は、職員で組織している「町有地有効活用検討委員会」において土地の売却等検討を進めている。

資材置場に使っている伍代跡地
（方向性は決まっていない）

### 町づくりをリードしていく役場職員の体制強化を!若い職員が夢を抱いてイキイキと働ける職場に!

**増田**　今年度、公金横領で職員が逮捕される事件があった。組織全体の改善の必要や見直しは。組織機構も町長就任以来変わっていない。

**町長**　このような問題を二度と起こさないために、早急に再発防止委員会を作り、チェック機能体制を強化している。今後も取り組みを進めていく。

　組織機構に関しては、見直すかどうか含めて議論を令和4年度中には行っていきたい。

### 教育現場でのこまやかな配慮を求める

**増田**　GIGA（ギガ）スクール構想の推進、ICT活用に伴う学校教育でのマイナス面での対応は。

**町長**　家庭環境の差による通信の問題は、保護者の理解を得ながら整えているところである。同時に、インターネット等の利用による差別やいじめを絶対許さない教育も引き続き進めていきたい。メディア指導の体制も、新年度から強化・充実していく予定。

佐藤 博美

# 野焼き存続のための支援策を…

…… 防火帯づくりの支援1㎡4円を
今年度から6.95円に増額

佐藤　九重に来る観光客の多くはくじゅうの草原とそして変わらない自然を求めて来る。この草原を守るための野焼き、防火帯づくりの補助1㎡4円では存続がむずかしくなっている。この野焼きができなくなると飯田高原の草原はなくなる。九重の観光の目玉であるこの草原を残すため、行政としての支援策を一昨年から言ってきたがどうなった。

町長　野焼きは草原景観や生物多様性の保全等と常に重要であることは認識している。防火帯は幅約10メートルで広大な面積を切り、そして焼く、機械燃料費、昼食代などの経費がかかっており、今まで防火帯づくりに1㎡当たり4円の支援を行っていたが4年度は6.95円ということで2.95円の増額をして予算計上している。

## ふるさと納税や森林環境税の対応はできないか

佐藤　町内で約800haの野焼きをしているがその中で飯田地区が630haで、滝上、菅原、相口と3地区についてはそれぞれの行政区が自分達の山をみんなで焼いているが、飯田地区については有志やボランティアで行っている。飯田地区の草原を守るためには、ふるさと納税の企業版の取り組みや、森林環境税を使って支援することはできないか。

## 新たな支援策もこれから検討していく

町長　一つのプロジェクトとして企業版ふるさと納税の取り組みについては、他の市町村の事例を参考に進めていきたい。また森林環境税については、山林への延焼を防ぐための緩衝帯としての防火帯という部分では、森林保護の観点で検討できないか大分県と協議を行っている。現在の補助制度は維持しつつ、新たな支援策についても検討していく必要がある。

タデワラ湿原の野焼き

## 大吊橋、早15年、新たな投資を考える時では

佐藤　大吊橋ができて早15年、民間の観光施設では5年、長くて10年スパンで新たな投資をして集客をしていく。15年もの間何の投資もしないで客を集める事はできない。災害復旧で厳しい時だが将来に向けての投資も必要では。

## 大型投資は今の段階では厳しい

町長　コロナの感染による大幅な収入減が続いており、国際情勢も混沌とした状況の中で令和2年度の当初予算で2億3千万の収入の見込みが実際は9千4百万という状況で、投資を抑えた誘客策を取っていくことを考えている。

## 町内宿泊者に大吊橋の無料通行券のサービスを

佐藤　大吊橋の目的は滞在型観光に向けての建設、今観光も厳しい、町内宿泊者には通行券のサービスをしてもいいのでは。

## 修学旅行で町内宿泊施設利用には通行券を

町長　令和2年度から修学旅行で町内の宿泊施設を利用した学校には入場券を無料で入場を、3年度は小中高合わせて28校、2,431名が訪れている。4年度も取り組んでいく。

# 第五次総合計画達成のため肝要なことは何か

## …… 財政健全化と人づくりである

麻生　良典

### 第五次総合計画 10年後の達成に向けたポイントは

麻生　計画はできた。目標達成のキーとなることは何か。計画を動かすのは人である。人の育成やリーダーシップをどのように考えているか。

町長　次の通りである。

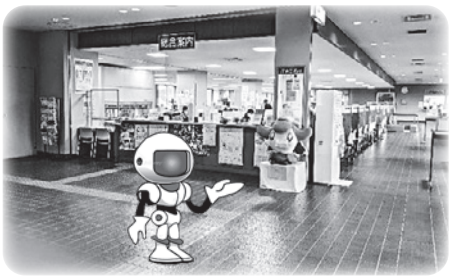
達成のキーポイント
・財政健全化、ひとづくり
リーダーシップ
・町民の夢の実現に向け後ろで支える
求められる姿
・失敗を恐れずに役場でも地域でも能動的に活動する人
・町に愛着を持ち、自分たちで考え企画し行動する人
・高校生ー青年層ー大人の協働

### 将来の役場機能と職員規模

麻生　人口減少やデジタル化は役場の機能や職員数に影響するが、どのように考えているか

町長　具体的には無い。5年10年後の役場のあり方は現在とは異なるであろう。

定年延長制含めて、将来像を検討する。



ロボットが案内してくれる日が来るかもしれない

### 個性や多様性を育むための学校での取り組み

麻生　10年後の将来を予想することが大変難しい時代である。児童生徒が自ら気付き、調べ、考え、表現でき、同時にそれぞれの多様さを受け容れる心を持つことが、将来逞しく生き持続可能な社会を形成する上で大切だと思う。学校現場での取り組みは如何か。

教育長　児童生徒の自己肯定感を高めることが肝要であり、行事では一人一人の活動の場を確保し、授業では個別学習と一斉学習を組み合わせて取り組んでいる。協調学習、集合学習、台湾との交流等は有効であり、タブレットやICTを活用し育成の幅を広げたい。

小規模校ならではの特徴を生かし、個性や多様性を育む。

### 産官学連携による活性化

麻生　町の発展には外部からの視点は欠かせない。産や学を農業や観光分野で活用する策は何か。農業では、大学の誘致を、との意見がある。

町長　農業では、市場に出せない規格外野菜の商品加工や販路拡大を研究し、食品ロス減少や所得向上に繋げたい。

観光では、APUや九州大学等と当町の特色分析を行っており、優先順位をつけて計画を立案・実行したい。このことを定常化して活性化を図りたい。

佐藤 明郎

# 耕地災害の復旧を全力で!!

…… 基本的に令和4年度までに、財源も確保

## 子どもに対するワクチン接種

佐藤　子どものワクチン接種については、副反応や後遺症を心配される方も当然居られる。

　子どものワクチン接種を遠慮したいと考える方の意志も尊重されるべきであるが、接種しないことでの偏見や差別は、特に子ども社会で、決してあってはならない。

教育長　打たないことに対して、いじめや差別、同調圧力が心配されるが、現在、そのような事象は聞いていない。

　今後、学校と協議し児童に正しい情報を提供し、保護者に対しても啓発を行う。

佐藤　学校と保護者だけでいいのか、「あってはならない」という風潮を町全体で共有する必要は。

町長　接種、未接種に関する差別は絶対にいけないと、周知を事前に図っており、対応策だけでなく、予防策もしっかり取り組む。

元気に走り出す子ども達

町道にかかったままの耕地災害現場

## 耕地災害

佐藤　国から激甚災害の指定を受けた豪雨災害の中でも、耕地災害の復旧工事が進まない現実がある。耕作者の意欲、二次災害の危険を考えると心が痛む。

　公共工事の在り方を踏まえた上で、この災害に限った特例措置でも設けて、関係業界を支え、全庁をあげて早期復旧をやるべき、そのためなら議会も全力で協力出来ると私は考える。

町長　特例措置については、研究してみないと明言できない。現時点では令和4年度までに災害復旧する。先ずはそれに全力で取り組む。そのための予算も確保している。

　達成できるか、厳しいところは確かにあるが、全力で取り組む思いは理解いただきたい。

## 小規模集落について

佐藤　人口減・高齢化が進む中、小規模な集落を持続可能にしていく、具体策は。

町長　小規模な対話会を重ね、まずは町民との情報共有を図って行きたい。

## 2/22 部落解放同盟九重支部との対話会

まん延防止措置が解除された直後の２月22日に隣保館で表記の対話会を開催しました。

部落差別を始めとした人権問題は至る所で発生しており、特にこの二年間はコロナ世相の中で大きく顕在化しました。

議会からは

・コロナ/ワクチン情勢に潜む部落差別意識

九重支部からは

・水平社100年の歩み

・インターネットによる深刻な差別

・公判中の部落差別事例　など

が紹介され意見交換を行いました。

人間は無自覚のうちに差別をしていることがあります。我々の心の中には差別意識が潜在化しておりますが、機会あるごとに調べ、学び、考えを巡らすことでその意識に気付くことが可能です。また、裁判等の全国規模で起こっていることにも目を向け、部落差別無し、に向けて一歩一歩着実に歩みを進めなくてはいけません。

コロナ情勢により開催は危ぶまれましたが、定期的な対話会を今後も継続します。

## 2/15 議会広報特別委員研修

リモートによる研修も増え、議員控室での受講となりました。

広報広聴マネジメントの分野について、先進事例を交えての研修でした。

## 2/10 佐世保市･九重町姉妹都市提携30周年記念式典

コロナ禍の中、佐世保市役所と九重町役場会議室をオンラインで繋いでの開催となりました。正副議長が来賓として出席しました。

# わたしのひとこと



## 観光農園から九重の素晴らしさを発信

南山田　串野
梅木　健太郎さん

２００６年10月に開業した九重〝夢〟大吊橋と同じ年の７月にブルーベリー摘み取り農園ベリージュファームは開園しました。

開園当時は知名度も無く、山の中のわかりにくい場所にあるため集客に苦労しましたが、徐々に口コミやメディアに取り上げられてお客さんが増えてきました。来客者は福岡県や大分県内各地からが多いです。

開園から４年後には石窯ピザを提供出来るレストランを新設しました。

品種によって味、大きさ、収穫時期、違う50品種１２０００本のブルーベリーが６月中旬から８月末まで摘み取り出来ます。

無農薬栽培で園内には杉皮を敷き詰めていて、足下はフカフカでその感触にお客さんは感動します。お客さんは自然の中での摘み取り体験、テラス席でペットと一緒の食事など非日常の中でゆっくりとした時間を過ごしています。

多くのお客さんから「癒やされる」という言葉をよく聞きます。

そういう声を聞くと自然豊かな九重町の素晴らしさを改めて実感させられます。

九重町には多くの自然、温泉、旅館、登山などの観光資源が豊富にあるので、ベリージュファームでの接客を通じて、九重町の魅力を伝えていきたいと思います。

## 先人の思いを受け継ぐ

東飯田　南恵良
麻生　透さん

４月といえば新入学・新学期・新年度、通常は桜の花に彩られた希望に満ちた新たな生活の始まりの時期。ところが77年前の４月は春の陽気とは程遠い、私達の先人にとって最大級の悲劇が始まった時期でもありました。１９４５年４月１日は米軍が沖縄本島上陸作戦を開始した日とされ、やがてその戦禍は拡がり、広島・長崎への原爆投下という悪魔の所業まで行われました。

沖縄県平和祈念資料館には戦争の一番の被害者は住民であることを伝える数々の遺物が展示されています。そこの一番最後の展示室の壁には「むすびのことば」と題された言葉が描かれています。

「戦争をおこすのはたしかに人間です。しかし、それ以上に戦争を許さない努力のできるのも私たち人間ではないでしょうか」。

この言葉は77年前に日本国内での唯一の地上戦を経験した沖縄の人々が受けたであろう癒やされることのない悲しみと苦しみ、そしてその後も現在まで続いている不平等な米軍基地押しつけの状況の中から紡ぎ出された言葉です。現在もロシアとウクライナの間で戦争が起きています。戦争を経験した私達の先人達は未だ戦争と殺戮を止められないこの世界のあり方をどう思うでしょうか。先人の言葉をもう一度かみしめて、その心を受け継いで行きたいと思った今日このごろです。

万年・伐株を正面に望む山門にて

# 傍聴へどうぞ　次回は6月です

## バトンをつなぐ

第13回

地区リレー

### 飯田

第51回飯田小学校卒業生　記念登山

### 野上

青山愛宕地蔵尊　春の大祭

**議会だよりについて**
**ご意見をお聞かせください。**
**【議会事務局：76−3814】**

令和4年4月15日
**発行／九重町議会**　編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ **0973-76-3814**・FAX **0973-76-3809**
メール（議会事務局）**gikai@town.kokonoe.lg.jp**

## 編集後記

先日、議会広報委員会の研修を役場の会議室でリモートで受けました。九重町では年4回、議会だよりを発行するための広報委員会ですが、この講義では、議会広報広聴委員会のあり方が主で、議会の報告はもちろんですが、町民の声を聴く場を多くもち、政策に反映させる事の大切さを唱えていた。九重町議会が町民の声を直接聞く「お出かけ議会」もコロナ禍の中、2年間開けておらず、町民の声が町政に反映されているか不安になる。

町民の声を直接聴き、町政に反映できる議会にしたいと改めて思う。

佐藤　博美

広報委員長　野上香代子
副委員長　土井眞一郎
委員　佐藤　博美
委員　大津留敏加
委員　麻生　良典
委員　岐部　俊哉